



## 教育センター・育成センター所報

# GALILEI



平成27年1月 朝日を浴びて輝く米山

## CONTENTS

- 今月の巻頭言…………… P 1
  - ★つなぐ  
教育センター運営委員  
柏崎市小中学校PTA連合会 会長 菊地 朋弘
- 教育センターだより
  - ★アクセス（教育研究班）…………… P 2
  - ★プロジェクト K（科学技術教育センター）…………… P 6
  - ★心の窓（教育相談班）…………… P 10
- 2月の行事予定表…………… P 11
- 所員随想「つれづれ」…………… P 11
  - ★顔を上げると… 教育相談班 石塚 賢子

平成27年1月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

つ な ぐ

教育センター運営委員  
柏崎市小中学校PTA連合会  
会長 菊地 朋弘



柏崎市小中学校PTA連合会会長に4月に就任してから、早くも9ヶ月が過ぎようとしています。この期間、日本PTA全国研究大会（長崎県）、関東ブロック研修大会（さいたま市）、そして、柏崎市P連事業である柏崎市と刈羽村の第1～4ブロック毎の研修大会に参加させて頂きましたが、何れの研修大会でも、子どもたちのために保護者の皆様が一生懸命活動されている姿を拝見させて頂き、経験の浅い自分には、大変多くの勉強をさせて頂く機会を与えてもらった研修会となりました。また、新潟県PTA連合会の諸会議にも参加し、柏崎市、刈羽村以外での郡市で、どのようなPTA活動を行っているのかを知ることが出来ました。

市P連会長を務めてみて、最初は大変忙しく苦勞の多い職であると感じましたが、子どもたちのために苦勞も厭わず精力的に活動されている多くの保護者の方々と繋がることのできる職でもありました。人との繋がりもPTAに関わることができたお陰であり、貴重な経験をさせて頂いていることに大変感謝しています。

ご存知のように私たちPTAは、子どもたちの健全育成を目的に家庭と学校そして地域が連携して活動を行っており、その連携のための架橋の役割も果たしてまいりましたが、残念な事に、現代はPTAの存在意義も問われるようになってきております。その理由には、PTA役員の成り手がいない、PTA活動は苦痛等とPTAを敬遠する声が聞かれるようになったからだと思います。

その背景には、少子化による子ども数の減少によるPTA活動に対する一保護者の負担増等も考えられますが、時代や環境の変化に合わせ活動を見直す取り組みが弱かったことが大きな要因と考えています。

しかし、私がこの短い期間で感じたことは、そのような現状を感じさせない多くの保護者の方々が、子どもたちのために精力的に活動されており、苦勞も感じさせないくらい楽しそうに活動されている姿でした。「何故楽しそうなのか？」と考えた時に、人は一人で出来ることは限られていますが、同じ目的を持った人たちが集まれば大きな力を生み、そして、一人ひとりがお互いの気持ちを尊重し合い絆を大切に活動しているからだと考えました。

柏崎市小中学校PTA連合会は、平成27年度に設立60周年、事務局独立20周年を迎え、節目の年となることから周記念事業を実施することと致しました。周記念事業を通し、単位PTAの保護者同士の絆を強め、柏崎市小中学校PTA連合会の活性化に繋がられればと考えております。また、今後のPTA活動を活性化するためにも多くの保護者の方々が楽しく参加して頂き、そして一人ひとりの心が繋がるように、周記念事業を通して変革の1年間になるようにしたいと思っております。

## ■研修講座より

### 主体的・協働的な学びを！ ～アクティブラーニングの実現に向けて～

◆1/16（金）これからの授業づくりに必要な視点 講師：文部科学省教科調査官 田村 学 様

この講座は、文部科学省教科調査官の田村学様を講師にお招きして行いました。田村調査官の講演テーマは「新学習指導要領の展望」、副題は「～アクティブラーニングの実現に向けて～」と設定されました。そこでは、これからの時代に必要なのは自ら課題を発見し解決に向け主体的協働的に探究し表現、実践していく、いわゆるアクティブラーニングであると語られました。例として、社会（企業）が求めている能力は「知識や情報を集め仲間とともに考えを導くこと」が優位であるにもかかわらず、教育界では未だに「チームを組んで特定の課題に取り組むこと」への重視度は低いというデータを示されました。知識や技能をしっかりと習得することだけでなく、習得した知識や技能を主体的協働的な探究に生かすことが大事だと説明されました。

また、学びを促進する教師として

- ① 子どもの発言を丁寧に聞く（聞き取る）
- ② 子どもの思い・考えを捉える（解釈）
- ③ 本時のねらいとの関係を考える（照合）
- ④ どのように振る舞うかを決める（判断）
- ⑤ わかりやすく板書したり端的に発問したりする（振る舞い）

を瞬時にやれる教師が求められているとも細かく言及されました。



講義を行う田村学調査官

この5点等からも、田村調査官が実際の現場に数多く足を運び、教室の中での教師や子どもの姿に基づき「何が大事なのか」を語っていることがわかります。その他、「汎用的能力の育成にかかわる世界の潮流」や「子どもたちの考えを可視化、捜査化し整理・分析しやすくする思考ツール」の紹介もしていただきました。

参加された先生方の感想には「毎年刺激を受けています。アクティブラーニングを実現するためにも何を教えたいのか、という思いのもと単元の構想をしっかりと行い、教える部分、考えさせる部分を明確にする必要を感じました」「総合での探究はやっぱり大切ですね。一方で、メリハリのある授業構成がますます必要だと感じました」など具体的に授業が変化していく流れを感じる記述が多くありました。

### 協議が深まった「養護教諭のための授業づくり」

◆1/14（水）養護教諭のための授業づくり講座①  
指導案提案 北条中学校 勝沼朋子養護教諭、山本健二教諭

この講座は、北条中学校の勝沼朋子養護教諭と山本健二先生のお二人から指導案の提案をしていただき、2月6日金曜日の公開に向け、検討協議会を行ったものです。昨年度、瑞穂中学校の塩浦栄子先生等から「養護教諭も積極的に授業に参加を」とのご意向を受けての開設です。今回の主題は「性感染症とその予防」で、これに関する知識を得た後、養護教諭からしかできない講話や指導を取り入れ、あなたが「守るべきものとは？」という、生き方に迫っていく授業提案でした。参加された養護教諭の先生方が、指導案を検討し「効果的だと思う点」や「改善が必要な部分の提案」を真剣に議論し合う、充実した研修会になりました。



指導案提案していただいた勝沼先生、山本先生と養護教諭の方々



## 「実態把握→方針の明確化→全校体制での取組」の中で「合意形成」を大切に…

◆1/15（木）生徒指導を進める上で知っておきたい基礎基本 担当：学校教育課 中村豊指導主事

この講座は、学校教育課 中村豊指導主事の担当で行いました。講座では文部科学省「生徒指導提要」をもとに、生徒指導を「社会の中で自分らしく生きることができる大人へと子どもが育つよう、その成長・発達を促したり支えたりする意図でなされる働きかけの総称」と定義しました。生徒指導はこの目的を達成するために組織的、体系的、意図的、計画的に教育過程の中でなされるものと説明もあり、単に熱心に子どもに接していれば自然に指導が行われる、と言うものではないことにも触れました。

少なくとも予測可能な事項は共通理解を、との話や、緊急度と重要度の二次元表（CS 分析）を用いた現状把握、役割連携の重要性に触れた研修内容でした。

参加された先生方の感想には「生徒指導に長けている一部の教員が必要なのではなく、職員全員で合意形成を行う大切さ感じました」「役割分担をしながら生徒指導を機能させていこうと思います」等、全校体制で進めていくことの大切さを実感した感想が多くありました。



講義を行う中村指導主事

## 「能」がアンサンブルのように聞こえてくる…

◆12/26（金） 能を教材とした体験型音楽授業の提案 講師：上越教育大学准教授 玉村 恭 先生

この講座は、上越教育大学の玉村恭先生を講師にお招きしてアルフォーレの大練習室で開催しました。会場の床や壁が防音性や保温性に富んでいたこともあり、快適で楽しく学べる講座となりました。

講師の玉村恭先生は、大学時代のサークル活動で能に魅せられ研究を続けていらっしゃいます。講座では演目「羽衣」のDVDを繰り返し見ながら「謡、太鼓、小鼓、大鼓、舞」等を短時間で次から次へと体験していききました。「羽衣」が打楽器のアンサンブルのように聞こえてくるようになりました。参加された先生の感想には「能は初めての体験でしたが、ていねいに教えてください、楽しく学べました」「このような伝統文化に関する講座は教科を越えて学ぶ重要性があると思います。華道、書道など、子どもの前に立つ教育者として知っておいたり体験したりしておいた方が良さと思う内容の講座は是非取り入れてほしいです」等、「能」の教材としての可能性に関する記述が多くありました。



実演する講師の玉村恭先生

## 家庭科でも自立的協働的な学びの創造を ～「ストローハウス」の制作を通して～

◆1/22（木） 中学校家庭科教材研究 講師：上越教育大学大学院 渡辺 元子 先生

この講座は、上越教育大学大学院の渡辺元子先生を講師にお招きして行いました。講座では70本のストローを使って「雪など上からの力に耐える丈夫な3階建ての建物をつくる」取組をチームで行いました。これまでの様々な学び経験を仲間同士で総動員し、意志決定役等の役割分担をしながら進める協働的創造的な活動であることを実感できるものでした。その後の実践紹介では、授業びらきにかかわって「自立とは」「家庭科の出発」など、家庭科教育の本質を感じる事例の紹介もありました。

参加された先生の感想には「住居学に基づいたストローハウスの紹介で様々な対話ができた。実践してみたい」等、家庭科教材研究に有効な内容だったことがわかる記述が多くありました。



講師の渡辺先生（中央）と、チームでストローハウスを制作する参加者

## ■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

### 資料を登録しました

#### ◆ 柏崎教育情報支援システム

| 実施日   | 講座名／資料名                             |
|-------|-------------------------------------|
| 12/24 | デジタルビデオ編集入門<br>デジタルビデオ編集入門.pdf（第3版） |

#### ◆ コンテンツサーバ(教育委員会資料)

| 登録日   | 資料名                                         |
|-------|---------------------------------------------|
| 12/24 | カリキュラム表_ver2_h27.xlsx（新しい教科書に対応したカリキュラムシート） |
| 1/9   | ALT News Letter 第35号                        |

## ■ 整備機器の活用を！

### 目的に応じてプロジェクタを使い分けましょう

整備年度は異なりますが、現在各校には以下のようなプロジェクタが整備されています。授業や講演会などで、適切なプロジェクタが利用されていない場面も見受けられますので、改めて各プロジェクタの特徴を紹介します。目的に応じて上手に使分けてください。

|                            | EPSON EB-1960                                                                       | EPSON EB-436WT                                                                                       | EPSON EB-825H                                                                                                                         |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主な利用場所・人数                  | 体育館など大人数用                                                                           | 教室など中人数用                                                                                             | 教室など中人数用                                                                                                                              |
| 明るさ(ルーメン)                  | 5000                                                                                | 3000                                                                                                 | 3000                                                                                                                                  |
| 整備台数                       | 1                                                                                   | 小1、中2<br>(中は寄贈分で+1)                                                                                  | 3                                                                                                                                     |
| 特徴                         | ・体育館や多目的教室などで、大人数が対象の場合はこれが最適。<br>(3000ルーメンでは明るさが足りません。)                            | ・投影に必要な距離が短いので、教卓位置からでも投影できます。<br>・電子黒板機能内蔵。<br>・無線アダプタを整備しましたので無線投影もできます。<br>・内蔵スピーカーでも教室利用には十分な音量。 | ・教室用のワゴンセットで整備した機器。セットに付属の実物投影機は他の2機種でも使えます。<br> |
| HDMI 端子の有無<br>(タブレットPCもOK) | ○                                                                                   | ○                                                                                                    | ×                                                                                                                                     |
| 外観                         |  |                  |                                                  |

補足) 前号でご紹介したように、HDMI 端子があれば、今年度整備した WiDi アダプタが使用できますので、タブレットPCからの無線投影が簡単にできます。また、iPad やスマートフォンの画面を投影したい場合も HDMI 端子が必要です。



## ■ スクールオフィス情報

### 学校閉鎖、学年閉鎖、学級閉鎖発生した場合の行事等の登録

#### (1) 学校閉鎖、学年閉鎖が発生した場合の登録

- ・「学校行事の設定」画面から、学校行事または学年行事として閉鎖情報(「〇〇による学校閉鎖」など)を登録します。このとき、「時間」の欄は「指定なし」に、「休み区分」を「休業日」にする必要があります。

#### (2) 学級閉鎖が発生した場合の登録

- ・必須ではありませんが、どのクラスが閉鎖になっているかがわかるように、「学校行事の設定」画面から、クラス行事として閉鎖情報(「〇〇による学級閉鎖」など)を登録します。このとき、「休み区分」は「設定なし」にする必要があります。
- ・保健管理の健康観察記録の「登録」画面から、当該クラスの全員を出席停止扱いにします。(「停・忌・公欠」をクリックして理由を選択します。なお、罹患者との区別は、健康観察記録のマスターで「停・忌・公欠」の名称と記号を区別できるように登録しておけば、「月別健康観察表」で確認することが可能です。出力される出席簿上では区別できません。)



## ■ 情報関連講習会のご案内

### 2 月に実施される講習会

#### ◆H27.2.4(水) スクールオフィス成績管理小学校指導要録様式 2 作成講習

スクールオフィスの成績管理サブシステムにより、指導要録様式 2 を作成するための設定と、作成手順について学習します。この講座は小学校の教職員が対象です。

#### ◆H27.2.5(木) スクールオフィス成績管理中学校指導要録様式 2 作成講習

スクールオフィスの成績管理サブシステムにより、指導要録様式 2 を作成するための設定と、作成手順について学習します。この講座は中学校の教職員が対象です。

#### ◆H27.2.17(火) スクールオフィス年度更新講習

スクールオフィス管理者向けの講習です。次年度用データの準備手順、学校基本情報管理の年度更新作業、年度末や年度始めに必要な処理について学習します。管理者以外の方が受講していただいても構いませんので、管理者の役割を部分的に委譲する際の参考にいただけます。

#### ◆H27.2.24(火) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その9

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

## ■ セキュリティ情報

### セキュリティホール情報(Windows)

マイクロソフトより、1 月 14 日付で 1 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が 1 件、「重要」が 7 件です。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。





明けましておめでとうございます  
今年もよろしくお願いします



旧年中は当センターの事業にご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。  
本年も皆様のニーズにできるだけお応えできるよう、努力していきたいと思ひます。  
どうぞよろしくお願いいたします。

## 【研修会・事業の様子】

教員同士が学びあう風土を大事に！自分の指導を振り返り、やる気につながる実践研究発表

◇ 1月9日（金） 「第27回柏崎刈羽地区教職員理科研究発表会」 9：35～12：20

指導者：山田 智 指導主事

柏崎刈羽郡学校教育研究部科学教育研究部主催の教職員理科研究発表会が行われました。今年度は同じ日の午後に理科師範授業の研修会があるため比角小学校で行いました。小中学校各4つずつの発表があり、教材観や指導観、児童の意欲関心を高める工夫、児童の思考の流れに合わせた単元構想、校内の理科環境整備などでした。どれも今後やってみたいと感じるヒントとやる気をいただくものでした。中には「自分は子どものころ理科は苦手だったけれど子どもたちに理科を好きになってもらいたいから授業を工夫している。」という心強い発言もありました。来年度も多くのご参加をお待ちしています。＜8、9 ページに発表会での質疑や講評を記載しました。＞

### 参加者の感想

「小中学校両方の実践を知ることができた。小中の学びのつながりを意識することができた。」

「来年度、早速自分の授業に取り入れたい内容もあり勉強になった。」

学校事情等で参加できなかった先生方の中で資料をほしい方はセンターまでご連絡ください。資料を送付いたします。

### 考える楽しさを知りました！

てこの活用の問題。初めは難しかったけどだんだんわかっていく楽しさを感じました。

◇ 1月9日（金） 「理科師範授業・講演会」 13：40～16：30

講師：筑波大学附属小学校教官 佐々木 昭弘 様

筑波大学附属小学校より佐々木昭弘先生をお招きして、比角小学校で師範授業とその後の講演を行いました。佐々木先生は、てこの活用で授業をされました。授業の導入で「ここにつりあっている鉄の棒があります。その片方を曲げると、鉄の棒はどうなるでしょう。」と投げかけました。鉄の棒の状態は3つ考えられます。①つりあったまま ②曲げた方に傾く ③曲げてない方に傾くです。児童の予想は曲げた方に傾くが多く、つりあったままという考えも出されました。しかし、実際は一人も予想しなかった曲げてない方に傾きます。その現象を目の当たりにした児童は「え～！なんで。」と声



児童に熱く語る佐々木先生

を上げ、驚いていました。その後『棒の片方を折り曲げると曲げない方に傾くのはなぜだろう』という問いが出されました。ここからが佐々木先生のおっしゃる意味理解を深める時間となるのです。どうしてこうなったかを言葉で説明できるようにする時間です。児童同士の学び合いの中でどうしてこうなったかを明確にしていきます。授業テクニック、児童に自信を与える方法、児童の意思・考えの表出を図る工夫など刺激の多い授業でした。



協議会形式の講演会

### 参加者の感想

「問いと答えの整合性をきちんと考慮して、問いや授業の流れを作る必要性を感じました。」

「...という人がいたのだけれど、この人はどうしてそう考えたんだと思う？など、視点の変換によって、児童生徒が発言しやすくなる工夫が見られ、今後、使えるなあと思いました。」

「この授業で子どもたちに何をどのように気づいてほしいのか、ゴールの姿を意識して授業をつくるというのがすごく参考になりました」

「意味理解のために言語活動が重要なことがよくわかりました。意味理解をさせられるような授業づくりに挑戦したくなりました。」

「どうでしょう。毎年いろいろな先生をお呼びして師範授業をしていただいたら。そしていろいろな学校で授業をしたら・・・」

師範授業を受けた比角小学校 6 年梅組児童の感想より・・・

- 曲げたらつりあっていた棒はどうなるかの問題で、自分が思ったのと違うことになったことから始まり、驚きっぱなしの連続でおもしろかった。
- 習ったことの応用問題のはずなのに初めはなんだか難しく感じてびっくりした。だんだんとわかっていく楽しさがあった。今までやってきたことで解けるということにもびっくりした。
- 理由や答えの書き方のポイントがよくわかった。今後に生かしていきたい。
- 今回の学習で「棒を傾ける働き」についてさらによくわかった気がした。
- グループのみんなと考えながら答えを出し合っていくことが楽しかった。
- 理科の実験だけでなく、考えることがおもしろいと思える授業だった。



## 2月の予定

### ○柏崎高等学校 理数科 課題研究発表会

- ◇日 時 2月4日(水) 12:40～16:20
- ◇会 場 柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール
- ◇内 容

スーパーサイエンスハイスクールに指定されている柏崎高等学校理数科の課題発表会です。先進的な理数教育の中、優れた測定機器を用い探究してきた生徒の発表です。小中高一貫した科学教育の先に目指す姿としても参考になります。



## 「第27回柏崎刈羽地区教職員理科研究発表会」から

前述しました発表会での質疑、講評などを紹介します。発表の内容はまもなく発行される「現場が生んだ理科指導上の工夫」をご覧ください。

### 谷 謙治先生(米山小学校)「主体的に調べたくなる理科指導の工夫」

Q. 意欲以外で、技能やノートまとめ等での成果はどうだったか？

A. 自分たちで必要なものを準備できるようになった。前時の終わりにまとめ、振り返りをすることで本時の見通しがもてるようになった。

講評：『はじめに』に「こうしたいが実態はこうである。だからこのようにしていきたい」ということが明確に記載されている。

子ども観、指導感をしっかりもっていることを感じた。問いと答えの一致・不一致に注目してさらに発展してほしい。



### 石田 溪介先生(柏崎翔洋中等教育学校)

#### 「科学的思考を高める言語活動を取り入れた学習過程の工夫」

Q. 予想の選択肢の中に正答がないのに「その他」を選ぶ生徒がすごい。どのように指導したのか。

A. 前時で中和が起こるとイオンの数が変わることに着目していた生徒(3人)はそれを考えることができた。

Q. 予想を立てさせるために単元構成をしたと思うが、予定外の反応はあったか。

A. 「イオンの数」があまり出ず、「電解質」「酸性」という説明が多かった。着目させるような改善が必要だと感じた。

講評：今回の実践のようにしっかり推論した後に検証実験する手法は大切である。



### 高橋 玄先生(枇杷島小学校)「子どもの意欲を高める理科授業づくり」

Q. 小学校の教科書にはアルミはくは酸にもアルカリにも溶けると書いてあったようだが。

A. 今の教科書では触れていない。

Q. 酢にアルミはくは溶けなかったのか。

A. その時は3日間放置したが、全く溶けなかった。

講評：子どもの実態を考えて単元構想を行っている。これがしっ

かり行われているからこそ成果と課題が明確になっている。また、考えの違う班の意見を取り入れることで思考のズレを生かした展開ができる。



### 山田 一誠先生(鏡が沖中学校)「学び合う場面を設定した電流の学習」

講評：先生自身がしっかりした「思い」や「単元観」をもって、日頃から指導している。

「電気」の領域は「エネルギー」だが「粒子」の面からアプローチしている。他には例えば「天気」の領域を「地球」としてではなく「エネルギー(の移動)」の面からもアプローチできる。ぜひ挑戦してほしい。



### 渡邊 敦先生(北鯖石小学校)「子どもの発見を単元導入とする理科指導の工夫」

Q. 3年生の「磁石」と「電流」の単元が内容がごちゃごちゃになりやすい。電流の単元での工夫があれば教えてほしい。

A. 今回は「磁石」のあと「電流」を行った。磁石で調べた物質をすべて電流で調べることで磁石とは違うことをとらえることができた。

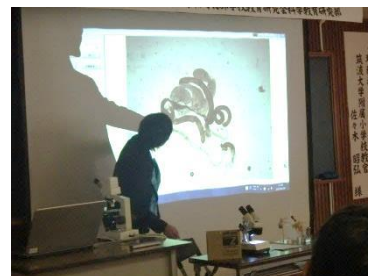
講評：自由に探す活動は準備が必要である。この活動に適した単元がある。そこでは一部の子ども発見を全体のものにしていくことができる。ワークシートの問いが的確で良い。

授業者の意図を汲んだ指導案検討がなされている。ねらいの文章に「夢中になりながら」「器具を独り占めしないように」などの言葉を入れることで手立てを考えることができる。



### 星野 健先生(北条中学校) 「ショウジョウバエの解剖の実演」

講評：今回あえて星野先生にお願いしてこのような発表スタイルにしてもらった。このような実技・技能面の発表もあっていいのではないかな。



### 池田 美奈子先生(中通小学校)「中通小の理科環境整備紹介」

講評：全校体制で取り組んでいる。ダイバーシティマネジメント（多様性の良さを生かす）

ダイバーシティマネジメントで大切な心得とは？

- ①目的を忘れない。（この場合、子どもの幸せのため）
- ②自分と異なる意見を生かすと集団の力がより生かせる、ということをもみんなで共有、確認する。
- ③議論すべき点としない点を分ける。
- ④全員参加・対等な関係で議論を行う工夫をする（まずは輪番、付箋を読むなど）
- ⑤時間の制限、進行役を決める。（決めたことは全員で納得して行うことをあらかじめ確認）
- ⑥時間切れの場合の対応を決めておく。（たとえば、最後は校長の判断など）
- ⑦悪口はその人の前と言う。（信頼感につながる）



### 石山 愛先生(瑞穂中学校)

#### 「学び合い活動を通じて科学的な思考力・表現力を育成する工夫」

講評：一人では何もできない生徒も班活動になったとたんに活動することができる場面がある。学び合いの大切さの一つである。学び合いの場面を積極的に取り入れていくことが大切。



# 心の窓

No.185

〒945-1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

E-mail soudan@kenet.ed.jp

## ☆ふれあいルームより☆

### ☆書初め(1/13)

学校からの課題とは別に、ふれあいルームでは自由な題材で書初めを楽しみました。上手く書かなければいけないと思うとなかなか書き出せませんが、まずは落書きのようなことから入ると、みんな楽に筆が進みました。例年は自由課題のみでしたが、今年はひとつ抱負になるような言葉も考えて書いてもらいました。どの通級生も前向きに考え書くことができていました。



### ☆スケート体験(12/18・1/15)

昨年の12月18日と今年1月15日の2回に渡って県立アクアパークでスケート体験をしました。スケートが初めての子や小さい時以来やっていない子が何人もいましたが、氷を恐れることなく積極的に練習していました。例年なら壁沿いからなかなか離れられない子がいるのですが、今年は1回目の体験から自力でリンクの中央まで滑れるようになった子がほとんどでした。2回目の体験では、みんな更に上手になってスイスイと滑っていました。ふれあいルームの今の通級生は運動が得意ではない子が多いのですが、人目を気にせず、失敗にもめげずに練習できたことが良かったのだと思います。苦手なことでも、それが少しでもできるようになれば、楽しいことへと変わります。そういう機会をこれからも子供たちにたくさん提供していきたいと思います。



(ふれあいルーム 寺澤 朋法)



### 《カウンセリングルーム》

#### いろいろ体験グループ (SST)

- 6日(金) 16:30~17:30 小学生Aグループ
- 13日(金) 16:30~17:30 小学生Bグループ
- 20日(金) 16:30~17:30 小学生Cグループ
- 26日(木) 18:30~20:00 中学生第1グループ
- 27日(金) 18:30~20:00 中学生第2グループ

### 教育相談班 2月の予定



### 《ふれあいルーム》

- 5日(木) ソフィアセンター
- 6日(金) スキー教室
- 19日(木) バス課外活動
- 27日(金) 3送会、中3生通級終了



|                                |   | 2月の行事予定表                                 |
|--------------------------------|---|------------------------------------------|
| 日                              | 曜 | 研修・行事・会議                                 |
| 1                              | 日 |                                          |
| 2                              | 月 |                                          |
| 3                              | 火 |                                          |
| 4                              | 水 | 研: 柏崎高校SSH課題研究発表会 12:40-(アルフォーレ)         |
| 5                              | 木 | 情: S0中学校指導要録様式2作成講習<br>ふ: ソフィアセンター       |
| 6                              | 金 | ふ: スキー教室<br>相: いろいろ体験グループ小A16:30-        |
| 7                              | 土 |                                          |
| 8                              | 日 |                                          |
| 9                              | 月 | 相: 班会議                                   |
| 10                             | 火 |                                          |
| 11                             | 水 | 建国記念の日                                   |
| 12                             | 木 |                                          |
| 13                             | 金 | 相: いろいろ体験グループ小B16:30-                    |
| 14                             | 土 |                                          |
| 15                             | 日 |                                          |
| 16                             | 月 |                                          |
| 17                             | 火 | 情: S0年度更新講習                              |
| 18                             | 水 | 教育センター運営委員会9:00-                         |
| 19                             | 木 | ふ: バス課外活動(新潟方面)                          |
| 20                             | 金 | 相: いろいろ体験グループ小C16:30-                    |
| 21                             | 土 | 研: 第13回柏崎の教育を語る会9:00-11:50アルフォーレ         |
| 22                             | 日 |                                          |
| 23                             | 月 |                                          |
| 24                             | 火 | 情: フリーQ&A                                |
| 25                             | 水 |                                          |
| 26                             | 木 | 相: いろいろ体験グループ中①18:30-                    |
| 27                             | 金 | ふ: 三送会・中三生通級終了日<br>相: いろいろ体験グループ中②18:30- |
| 28                             | 土 |                                          |
|                                |   |                                          |
|                                |   |                                          |
| 研: 教育研究班 科: 科学技術教育 相: 教育相談班    |   |                                          |
| ふ: ふれあいルーム 情: 情報教育研修 育: 育成センター |   |                                          |



想 隨 員 所

顔を上げると・・・

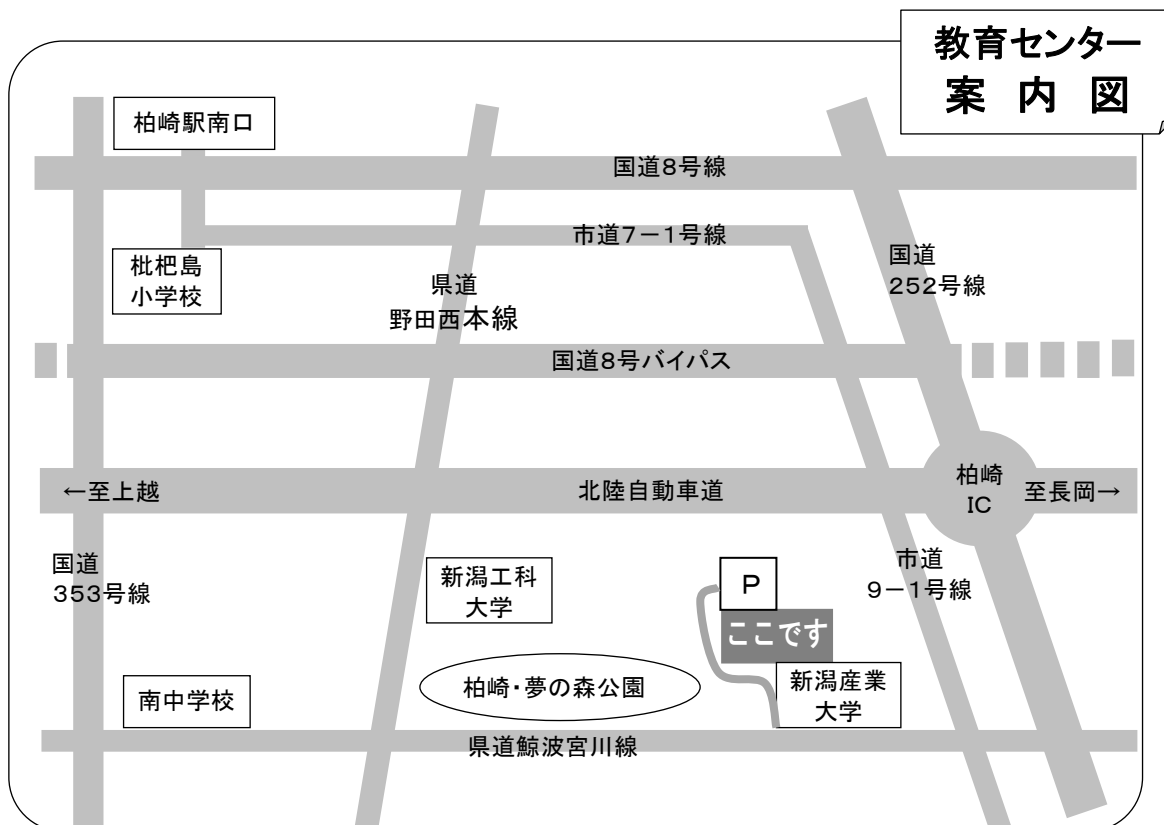
教育相談班 石塚 賢子

柏崎市に住み始めて約10か月が経ちました。仕事や生活のスタイルができ始めた後、ヒップホップやピラティス、最近はエアロビも…週2回位は就業後通うようになりました。きっかけとしては、業務の中で運動することがかなり少ないこと、それに気分の切り替えも兼ねて気軽に始めました。

練習中、ダンスではステップや振り付けを覚えるまでインストラクターの先生や上手な人の動きを見るのに必死になって頭が下がることがよくあります。そうすると、先生が「間違ってもいいから、顔を上げてね!」と踊っている皆に指摘をします。私もその一言で、はっと顔を上げると、合わせることだけに必死過ぎていることに気づきます。周りの色んな様子も見えて、自分だけまだできてないかと思ったら案外みんな動きがバラバラだったりして逆にほっとすることもあったりするくらい…。また、顔を上げた視線の先には全身ミラーに踊っている自分の姿が映って、大体はもっとかっこよく踊れたらなーと思うのですが…ふと、『意外と頑張ってる、私!』と、思い直して楽しくなってくることもあります。単純に顔を上げただけで見えるものもだいぶ変わると感じることもあります。

業務中では、下を向いている子たちに出会うことがあります。理由や個人差も様々ですが、周りの様子や自分の姿が見えづらい状況。彼らも自分は頑張っているんだな、皆はこんな感じなのか…と、少しずつ気づけるシーンが増えるように接していきたいと、改めて、生徒になって体験しているところです。





〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

イタリアの天文学者ガリレオ・カリレイのたゆまぬ創造と検証の精神にちなみ、教育センター所報を「GALILEI」と名づけています。

インターネット版は、「柏崎市教育情報支援システム」を検索し、トップ画面右上の所報「GALILEI」をクリックすると閲覧できます。

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班（電話相談）TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成27年1月発

=====